



シスコ ソフトウェア定義型 ストレージ ソリューション

ストレージはデータセンターで重要な役割を果たします。電子メール、メッセージやドキュメントの保管から、ビジネスに不可欠な情報、知的財産、取引の詳細の保存に使用されます。ビジネスにおける接続対象が増加しているため、データの保管およびアーカイブに対する旧来の方法は、データ量の増加やいつでもどこでも情報にアクセスしたいという要求に対応するために、変化しています。

これまで IT 組織では、個々のディスク ドライブを搭載したシステムから、ディスク ドライブをグループ化できるストレージ アレイに移行して、大容量を可能にしています。より多くの容量に迅速かつ簡単にアクセスする必要性が生じたため、ネットワークを通じて容量を利用できるストレージ エリア ネットワーク (SAN) とネットワーク アタッチド ストレージ (NAS) が登場しました。最近では、統合システムとハイパーコンバージド インフラストラクチャがネットワークに追加されてリソースの取得と導入が簡素化され、容易に拡張できるようになりました。ストレージのアクセス、パフォーマンス、コストのバランスを取ろうとする企業の取り組みから、ソフトウェア定義型ストレージが普及するようになり、進化をさらに推し進める要因となりました。

ソフトウェア定義型ストレージとは

ソフトウェア定義型ストレージは、サーバ仮想化テクノロジーの次のフェーズで、仮想マシンを越えて仮想データ ストアに移行したものです。ダイレクト アタッチド ストレージ (DAS) 向けに最適化された業界標準の x86 アーキテクチャ サーバを、分散ソフトウェア抽象化層と統合しています。このインテリジェントなソフトウェアによって、システムはコスト効率が高いスケールアウト ストレージ リソースの単一の論理プールへと転換され、データセンターへの統合や管理が簡単になります。

ソフトウェア定義型ストレージ向けのシスコ ソリューション

シスコのソリューションは、増え続けるデータ量に柔軟に対応し、情報とイノベーションを即座に利用できるようにします。ユーザやアプリケーションからの容量およびパフォーマンスに対するニーズに応じて、多様なシステムおよび拡張カードから選択できます。シスコのモジュラ アプローチによって、以下のことが実現します。

メリット

- **リスクと複雑性の低減:** ソフトウェア パートナーからなる幅広いエコシステムの Cisco® サーバとソフトウェアを組み合わせ、システム上での IT リソースのプールやデータの保存に関するタスクが簡素化され、投資保護の拡張性が向上します。
- **汎用性:** 多様なサーバ オプションが用意され、お客様のソフトウェア定義型ストレージ導入に適した容量とパフォーマンスを簡単に導入できます。
- **運用効率:** Cisco UCS® Manager は、数百台のストレージ サーバでも、サーバが 1 台の場合と同じ反復可能で一貫した方法で容易に構成できます。

- **リスクと複雑さの軽減:** ソフトウェア定義型インフラストラクチャが最初から適切に機能すると、お客様に確信していただく必要があります。シスコでは、ソフトウェア ベンダーからなる大規模なパートナー エコシステムでコラボレーションと検証を実施して、一連の実証済みのソリューションとリファレンス アーキテクチャを提供し、お客様の IT スタッフが IT プロセスとビジネス アプリケーションをストレージのイノベーションに低リスクで統合できるよう支援します。その結果、必要とするソリューションを容易に調達して、実装と導入を促進できます。

対象環境

- ・ ファイル、ブロック、オブジェクトストレージ
- ・ 電子メール サーバ
- ・ コラボレーション環境
- ・ ビデオ監視アーカイブ
- ・ コンテンツ配信ネットワーク
- ・ データ保護ソリューション
- ・ プライベート クラウドのストレージ

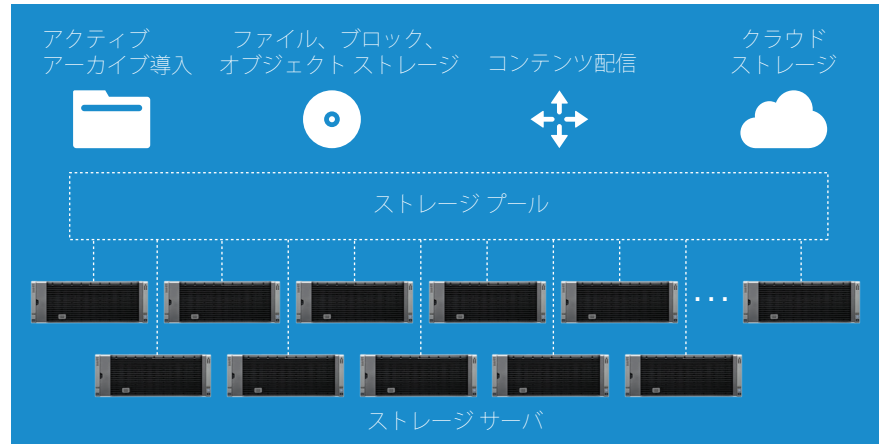


図 1 シスコソリューションが提供するソフトウェア定義型ストレージ導入の基盤

- ・ **多様な選択肢:** Cisco Unified Computing System™ (Cisco UCS®) のポートフォリオには、さまざまなサーバ オプションが用意されており、お客様のソフトウェア定義型ストレージの導入に適した規模を選択できます。Cisco UCS C シリーズ ラック サーバを導入すると、さまざまな共通するストレージのシナリオに対応できます。拡張性と可用性の高いストレージインフラストラクチャが必要な場合は、Cisco UCS S シリーズ ストレージサーバを使用します (図 1)。
- ・ **必要に応じて拡大:** ソフトウェア定義型ストレージ インフラストラクチャで使用されるストレージの容量、パフォーマンス、プロトコルを、お客様のペースで、従来の大規模なストレージソリューションよりも小刻みに拡張できます。拡張する対象や拡張する時期を自由に選択できるので、小規模な構成から開始してペタバイト単位の容量に拡張できます。また、サーバ間で I/O 処理を分散して I/O 処理を高速化できます。
- ・ **IT 運用の効率の向上:** Cisco UCS Manager は、効率化に欠かせない自動化を実現します。ルールベースおよびポリシーベースの管理によって、テラバイトからペタバイト単位のストレージ容量を数分のうちに容易に導入できます。Cisco UCS サービス プロファイルとストレージ プロファイルは、これらの機能を拡張し、サーバとディスクドライブを特定、設定、接続、使用方法を指定することができます。ストレージサーバが数百台でも、1 台のサーバの場合と同じ反復可能な方法で簡単に構成できます。
- ・ **ベンダー ロックインの排除:** サポート対象がリモート オフィスやブランチ オフィス、または大企業のデータセンターのいずれであっても、シスコの広範なパートナー エコシステムには必要なものが揃っています。パートナーと協力して共同ソリューションをテスト、検証、文書化するので、ソフトウェア定義型ストレージソリューションをすばやく確実に稼働できます。

次のステップ

Cisco UCS ソリューションでビジネスおよびアプリケーションに最適なソフトウェア定義型ストレージソリューションを作成する方法については、シスコのセールス担当者または認定パートナーまでお問い合わせください。

関連情報

製品

- ・ cisco.com/jp/go/ucs
- ・ cisco.com/jp/go/storage

ソリューション:

- ・ cisco.com/jp/go/sds